

第8回

ふくやま子ども「生きる」美術展



ナンバー1
決定!!

「さなぎのからを、一生けんめい
やぶって出てくるすがたに、
かん動しました。」

大賞・ふくやま美術館賞《命ってふしぎ》武内いずづ（福山市立山野小学校3年）

福山市市制施行 100 周年記念事業

おかざき・ふくやまの子どもたちの交流展



第28回リトルアーティスト絵画コンクール優秀作品《かけまわる子ぎつね》橋口 奏斗（岡崎市立上地小学校2年・当時）

2017年 1月2日<月> - 9日<月・祝>

開館時間：9：30 - 17：00 ※会期中無休

主催：（公財）ふくやま芸術文化振興財団 ふくやま美術館、福山市、福山市教育委員会、おかざき世界子ども美術博物館、岡崎市

後援：府中市教育委員会、神石高原町教育委員会、尾道市教育委員会、笠岡市教育委員会、朝日新聞福山支局、産経新聞福山支局、山陽新聞社、中国新聞備後本社、毎日新聞福山支局、読売新聞福山支局、福山リビング新聞社



福山市西町二丁目4番3号 電話084-932-2345 JR福山駅北口から西へ400m

ふくやま子ども「生きる」美術展

大賞の作品



《あめふり》
平松 裕太 (福山市立神辺小学校1年)



《思い出のパエリア作り》
村上 萌 (福山市立本郷小学校5年)

「ふくやま子ども『生きる』美術展」は、子どもたちに絵画制作を通して「生きる力」を備えた人間に成長してもらいたいと願って創設された展覧会です。

第8回目を迎えた今年、大賞・ふくやま美術館賞を受賞したのは、武内いずづさんでした。《命ってふしぎ》は、さなぎの殻を一生懸命破って出てくるモンシロチョウの姿に感動している自分を緻密に写実しています。「たまごのときから誰も助けてくれない。自分で生まれて、自分で生きて行く。そんなチョウを見て、命の力強さを感じた」といずづさんは作文にも綴っています。

本展には54校の小・中学校から4,590点の作品が寄せられ、1,113点の作品が入選、入賞いたしました。このうち、ふくやま美術館賞・大賞7点、優秀賞50点、奨励賞222点の計279点が美術館で展示されます。また会場にて、小林徳三郎賞(学校賞)の4校も発表いたします。



《苦難を乗り越えたおばあちゃん》
吉井 有羽
(福山市立神村小学校6年 個人応募)



《お父さんと田植え》
黒木 碧恵 (府中市立上下北小学校4年)



《いつもとなりにいてくれる友だち》
渡邊 創太 (福山市立新雅小学校2年)



《自画像(キュビズム)》
柏原 花凜 (尾道市立因北中学校3年)

おかざき・ふくやまの子どもたちの交流展

大賞の作品

おかざき世界子ども美術博物館は、未来を担う子どもたちの想像力と国際性を育成するために、リトルアーティスト展を毎年3月に開催しており、今年で29回目を迎えます。

第20回から第28回までのリトル大賞・市長賞・市議会議長賞・教育委員会賞・子ども美術博物館長賞に輝いた作品50点を展示いたします。

あわせて、ふくやま子ども「生きる」美術展の第1回～第7回までの大賞作品49点も展示する交流展を開催いたします。



《シカにエサをあげたよ!》
吉川 奈甫
(岡崎市太田絵画造形教室 小学校1年・当時)



《金魚》
水越 麦 (岡崎市元能見保育園 年長・当時)



《まごめ雪の朝》
大矢 千咲
(岡崎市高原児童絵画教室 小学校6年・当時)

同時開催

正月限定! あそびまショー!! 2017年1月2日<月>-3日<火>

正月2日間限定で岸田劉生の「麗子像」の顔ハメ看板による写真撮影コーナーと巨大すごろくゲームで遊べます。

▶参加費：無料 ※カメラは持参してください。 ▶会場：ふくやま美術館1階エントランス

新春版画賀状展

2017年1月2日<月>-15日<日>

▶観覧料：無料
▶会場：ふくやま美術館2階ラウンジ

冬季所蔵品展

「森村泰昌 - こうして少年は美術家となった -」

2016年12月27日<火>-2017年4月2日<日>

▶観覧料：一般300円 高校生以下無料
▶会場：ふくやま美術館2階常設展示室



◎交通案内
JR福山駅北口から西へ400m
福山東インターから車で20分
駐車場 68台 (有料)

◎お問い合わせ ふくやま美術館
〒720-0067 福山市西町二丁目4番3号
☎ 084-932-2345
<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-museum/>

